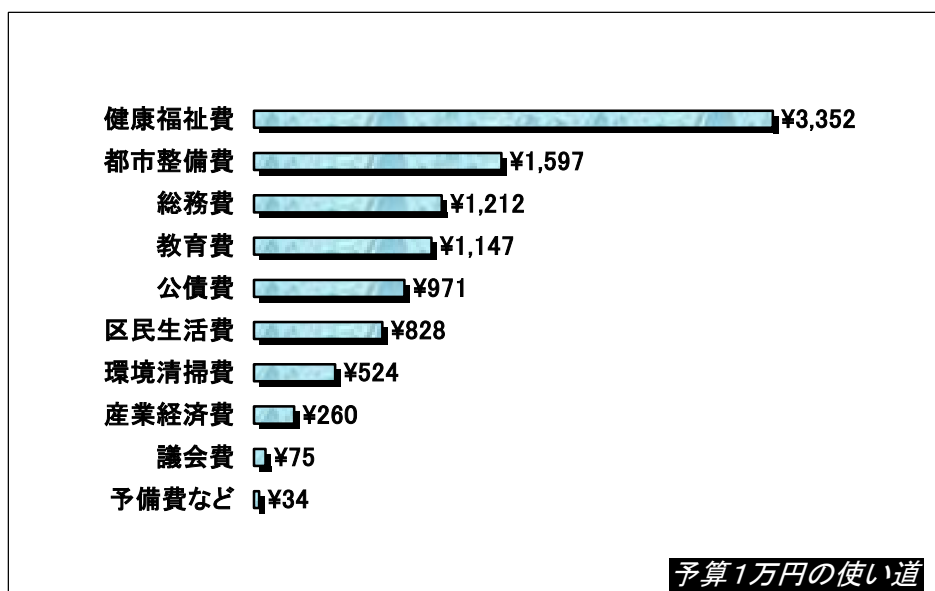


= 区民の皆さんに予算を理解していただくために =

平成20年度(2008年度)

区民のための 予算ハンドブック



目黒区

このハンドブックは、目黒区ホームページにも掲載しています。

<http://www.city.meguro.tokyo.jp/gyosei/soshiki/kikakukeiei/zaisei/index.html>

はじめに

目黒区では、区民の皆さんに区政に関する情報をわかりやすく、積極的に提供できるよう努めています。

この「区民のための予算ハンドブック」は、その一環として、平成20年度当初予算について、収入・支出が全体としてどのような姿となっているのか、また、どのような施策が盛り込まれているのかを、グラフや写真などをなるべく多く取り入れてわかりやすく説明したものです。

平成20年度予算では、「住みたいまち、住み続けたいまち目黒」の実現を目指し、「4つの重要課題」に重点的に予算を編成しました。これらの施策内容のほか、本年度新たに計上した経費の主なものなどをご紹介します。

また、「区の予算の使い道」をご理解いただくため、区民の皆さんに身近な事業を取り上げ、事業内容と予算をご紹介します。今回は、「住宅用火災警報器の無償設置」、「プラスチックリサイクルの推進」の2事業としました。

この冊子が、区の予算について一層のご理解をいただくための一助となれば幸いです。

平成20年5月

目 黒 区

目 次

1	予算編成方針	1
2	予算規模	1
3	一般会計予算の概要	2
	(1) 歳入予算(区の収入)	2
	(2) 歳出予算(区の支出)	4
4	実施計画事業一覧	6
5	重点化対象事業等	14
	重要課題(1) 区民の安全・安心の確保	15
	(2) 少子高齢社会への対応	19
	(3) 環境問題への取組み	23
	(4) 地域特性を生かした目黒らしさのある取組み	28
	その他の主な新規・臨時経費など	32
6	特別区債(区の長期借入金)	48
7	積立基金(区の貯金)	48
8	特別会計財政規模の推移	49
	(1) 国民健康保険特別会計	49
	(2) 老人保健医療特別会計	49
	(3) 後期高齢者医療特別会計	49
	(4) 介護保険特別会計	50
	(5) 用地特別会計	50
参	考 資 料	51
	20年度に実施する特色ある事業	52
	住宅用火災警報器の無償設置	52
	プラスチックリサイクルの推進	54
	行財政改革の推進	56
	類似団体との財政状況比較	61

1 予算編成方針

目黒区の主な基幹財源である特別区税や特別区交付金は、右肩上がりの堅調な伸びを示しており、財政状況には改善の兆しが見られます。一方、米国のサブプライムローン問題や原油価格の高騰といった景気の先行きに対する不安材料もあり、今後、景気後退期には税収が落ち込み、財政の硬直化が一気に進むことも懸念されます。さらに退職手当や更新時期を迎える区有施設の改築・改修経費の増加など、今後の財政負担は確実に増大する方向にあります。

このように、より一層の行政効率化と財源確保が求められるという中で、20年度当初の予算編成を行いました。

今回は、行財政運営基本方針に沿って「住みたいまち、住み続けたいまち目黒」の実現を第一に考え、「区民の安全・安心の確保」、「少子高齢社会への対応」、「環境問題への取組み」、「地域特性を生かした目黒らしさのある取組み」の4つの重要課題について、積極的に具体化していくものです。

また、予算編成の手法として、19年度に引き続き予算を総額で管理する計画的な編成を徹底し、重要課題等に重点的・効率的に配分することによって、区民福祉の向上を目指しています。

こうして編成した20年度当初予算は、3年連続で財源不足対策として積立基金を取り崩すことなく編成することができました。

2 予算規模

一般会計予算は、967億円余で、前年度比7.9%、70億円余の増となっています。

特別会計では、国民健康保険特別会計は0.6%増、老人保健医療特別会計は後期高齢者医療特別会計の新設に伴い88.5%減、後期高齢者医療特別会計は新設、介護保険特別会計はほぼ昨年度並み、用地特別会計は東山公園拡張用地取得に係る公共用地先行取得債の償還経費の増などにより935.9%の大幅増となっています。

一般会計と特別会計の合計額は1,465億円余で、前年度比0.7%増となっています。

会計区分	平成20年度	平成19年度	増減額	増減率
一般会計	96,738,672	89,657,213	7,081,459	7.9%
特別会計	49,800,466	55,894,746	6,094,280	10.9%
国民健康保険特別会計	24,461,459	24,316,887	144,572	0.6%
老人保健医療特別会計	1,989,665	17,375,210	15,385,545	88.5%
後期高齢者医療特別会計	4,770,040		4,770,040	皆増
介護保険特別会計	13,740,569	13,735,529	5,040	0.0%
用地特別会計	4,838,733	467,120	4,371,613	935.9%
合計	146,539,138	145,551,959	987,179	0.7%

3 一般会計予算の概要

(1) 歳入予算(区の収入)

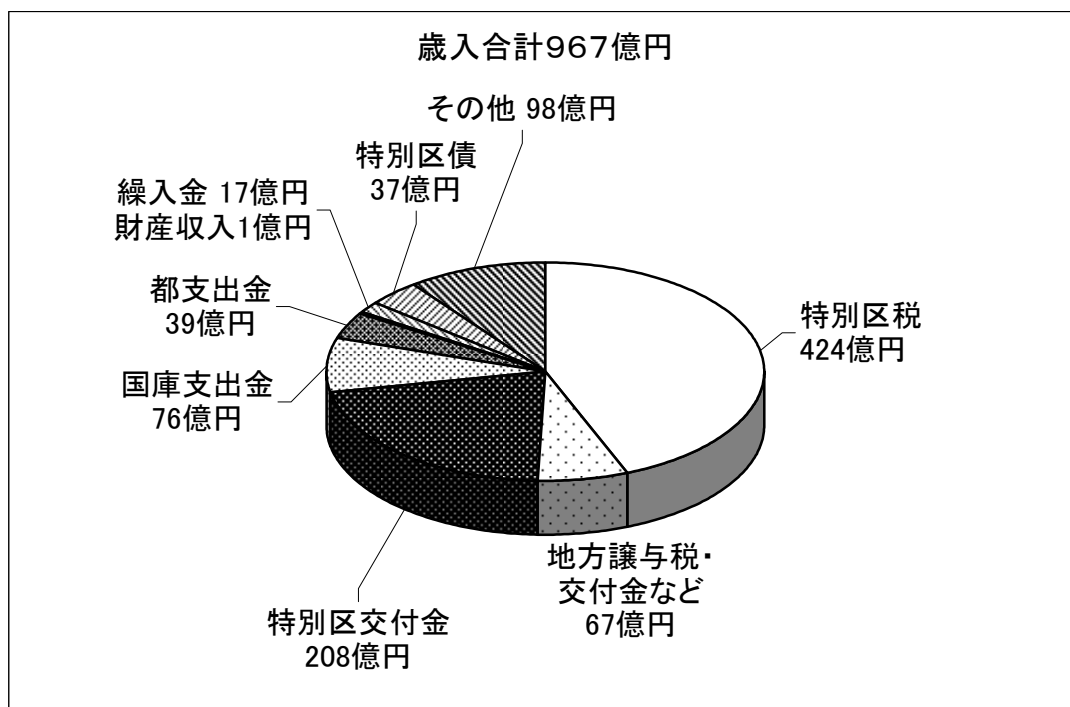
区税収入は424億円余で、前年度比6.8%、27億円余の増額となっています。

都区財政調整に基づく特別区交付金は、財源である市町村民税法人分が前年度に引き続き大幅増となったことを反映して、本区への交付金については、5.8%、11億円余の増となっています。

また、その他の一般財源では、利子割交付金が4億円余、配当割交付金が1億円余それぞれ都税収入の増見込みを反映して増となっており、地方消費税交付金は2億円余、地方特例交付金は1億円余の減となっています。

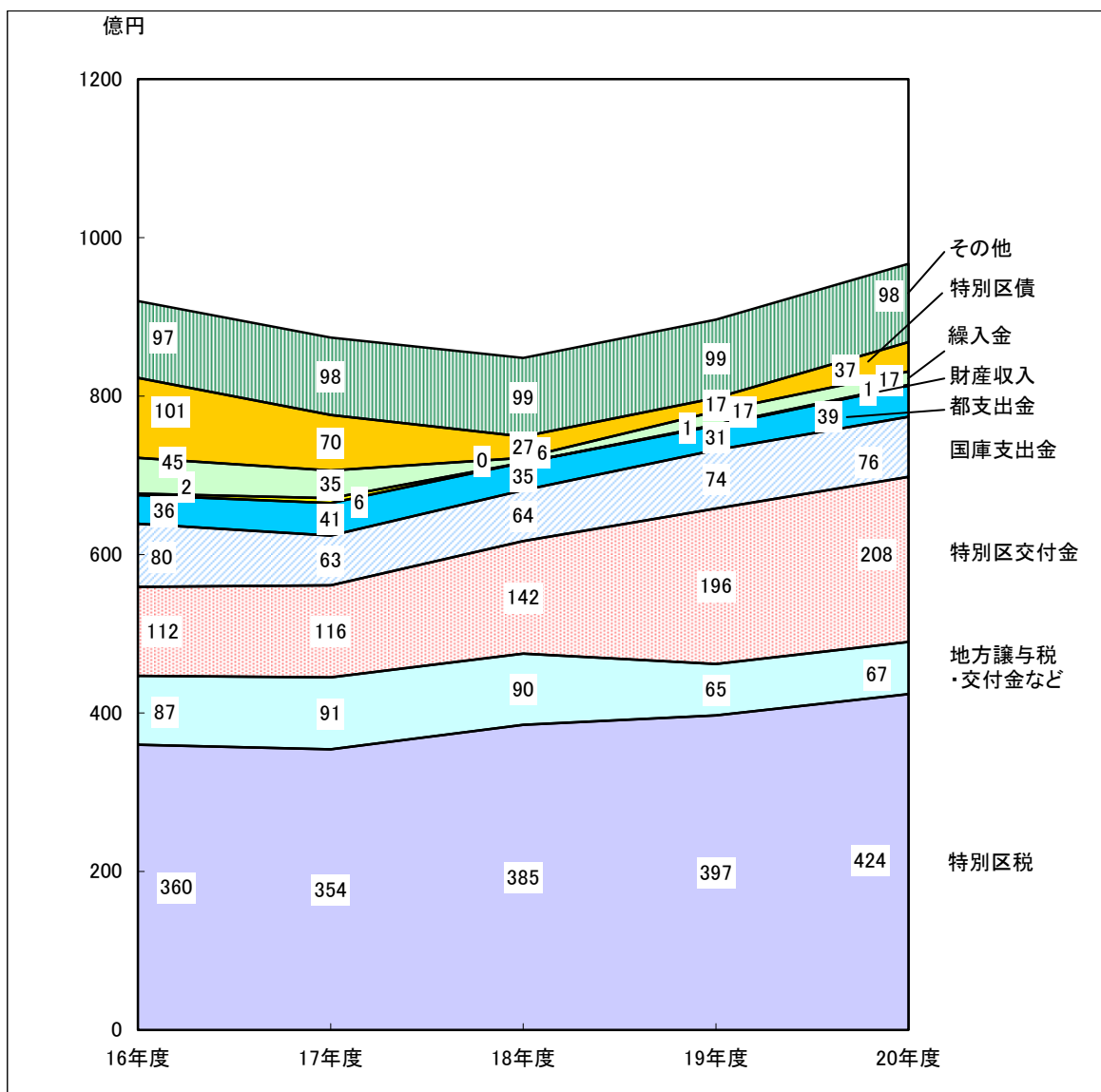
国庫支出金は、上目黒一丁目地区市街地再開発事業経費の増などに伴い3.3%、2億円余の増、都支出金についても同様の理由により26.9%、8億円余の増となっています。

特別区債は、18年度に用地特別会計で公共用地先行取得債を発行して購入した東山公園拡張整備用地を一般会計に買い戻すための起債が影響し120%、20億円余の大幅増となっています。



歳入予算の推移

(単位：億円)



「地方譲与税・交付金など」は、地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、地方消費税交付金、自動車取得税交付金、地方特例交付金及び交通安全対策特別交付金の合計です。

【用語の説明】

特別区債 区が外部（政府資金、民間資金など）から資金を調達する長期の借入金のことです。施設建設などで多額に資金を要する時に発行します。長く利用される公共施設などについては、世代間の負担を公平にすることができます。(☞48 ページ)

積立基金 特定の目的で資金を積み立てるため設置するもので、年度間の財源を調整するための財政調整基金など、現在、区には9の積立基金があります。(☞48 ページ)

(2) 歳出予算(区の支出)

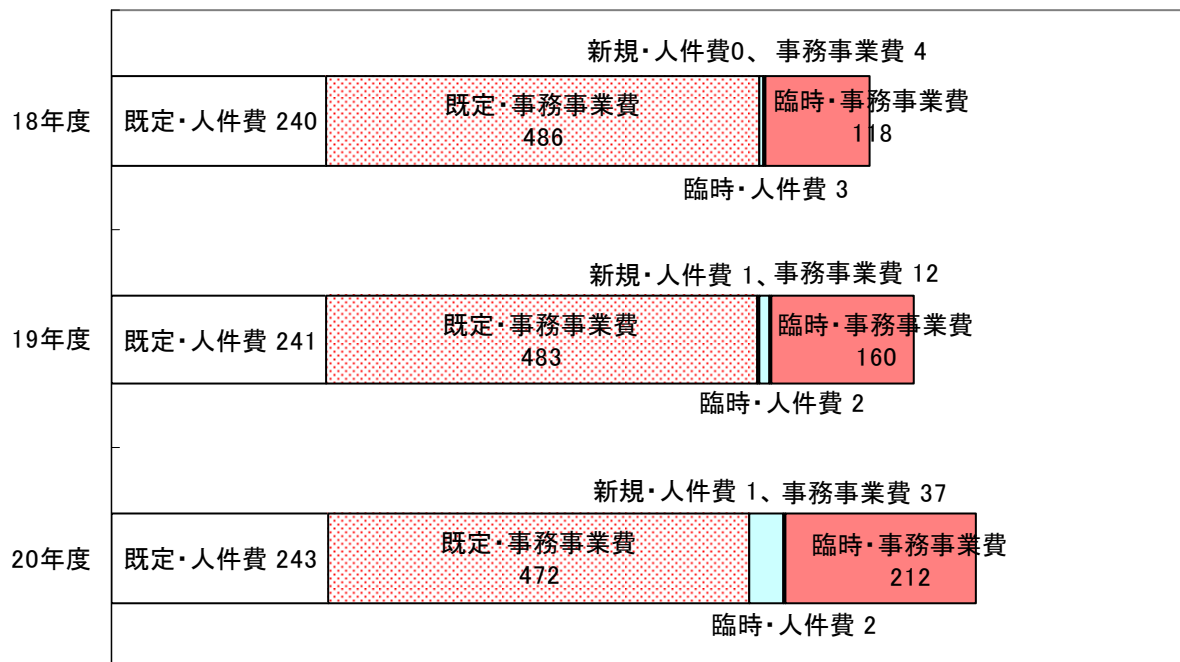
既定経費は713億円余で、基本健診が医療制度改革によって廃止され特定健診を新規事業として実施することとなったことなどが影響し、前年度比1.3%、9億円余の減です。既定経費のうち人件費は243億円余で、退職手当の増などにより前年度比1.2%、2億円余の増となっています。

レベルアップ経費は通学の介助に対する支援など1億円余を計上しており、新規経費は特定健診や体育施設への指定管理者制度の導入などにより25億円余の大幅増で38億円余となっています。

臨時経費は214億円余で、東山公園拡張整備用地の用地特別会計から一般会計への買戻し経費や上目黒一丁目地区市街地再開発事業費の増のほか、区有施設の将来の改築・改修に備えるため、施設整備基金への積立てを見込んだことなどにより、33.7%、54億円余の大幅増となっています。

経費区分別の予算額

(単位：億円)



【用語の説明】

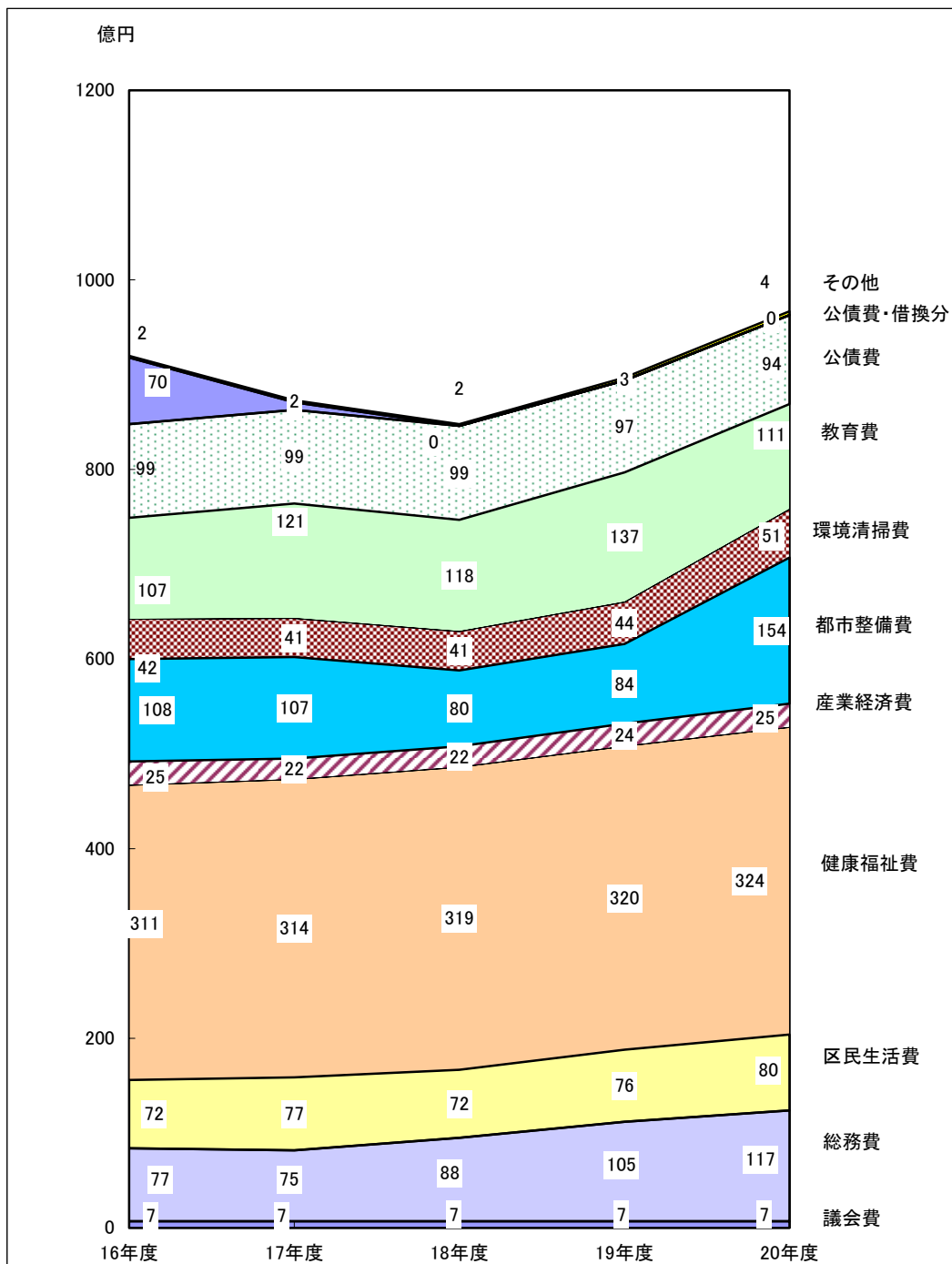
既定経費 現行の行政水準を維持していくのに必要な経費をいいます。

新規経費 新たな事務事業の開始に伴う経費で、翌年度以降經常化すると、既定経費となります。

臨時経費 建設事業など、一時的または臨時的に投入する経費をいいます。

歳出予算の推移

(単位：億円)



4 実施計画事業一覧

区では、まちづくりを計画的に進めていくために長期計画を定めています。その一つである実施計画は、区の事業のうち計画的に推進する必要がある主要な事業についての5か年（19～23年度）の行財政計画です。

財源の裏付けを持った年度別の事業量を定めることを基本とし、事業の着実な推進を図ることを目的としています。

「実施計画」の20年度予算計上は、以下のとおりです。

番号	事業名	19～23年度 総事業費	20年度 事業費
豊かな人間性をはぐくむ 文化の香り高いまち			
1	教育用コンピューター機器の充実 小・中学校の情報教育の推進を図るため、新機種のコンピューター機器類を整備します。	5億9,677万円	1億433万円
	(20年度予算計上内容) ・コンピューター機器等更新：小学校8校、興津健康学園 ・校内LAN拡充：小学校7校		
2	特別支援学級の増設 対象児童の推移を考慮し、特別支援学級の増設を図ります。	9,975万円	4,507万円
	(20年度予算計上内容) ・知的障害学級：運営開始（八雲小学校） ・情緒障害学級：運営開始（中目黒小学校）、施設改修・備品整備（原町小学校）		
3	小学校校舎の改築・大規模改修 小学校校舎の改築・大規模改修に併せ、新たな学習形態に対応する教育環境を整備します。	31億3,615万円	1億933万円
	(20年度予算計上内容) ・碑小学校：校庭整備 ・東山小学校：基本構想		
4	めぐる学校サポートセンター（仮称）の整備 新たな教育課題に対応するため、守屋教育会館機能を拡充し「めぐる学校サポートセンター」を第二中学校跡地施設に整備します。	4億8,509万円	2億2,640万円
	(20年度予算計上内容) ・めぐる学校サポートセンター整備：改修工事・開設 (事業費には「めぐる歴史資料館（仮称）の整備」を含む)		
5	大橋図書館の整備 大橋地区市街地再開発事業による再開発ビル内に大橋図書館を移設します。	8,598万円	
	(20年度予算計上内容) ・内装工事設計 (事業費は「大橋一丁目公共公益施設の整備」に別掲)		
6	めぐる歴史資料館（仮称）の整備 守屋教育会館の機能移転に伴い、第二中学校跡地施設に「めぐる歴史資料館」を整備し、郷土資料室の機能拡充を図ります。		
	(20年度予算計上内容) ・歴史資料館整備：改修工事・開設 (事業費は「めぐる学校サポートセンター（仮称）の整備」に別掲)		
ふれあいと活力のあるまち			
1	観光まちづくりの推進 観光まちづくりの推進に向け、企画・運営など具体的な役割を担う推進組織を設置し、情報発信、イベント実施及び情報ネットワークづくりを進めます。	1,975万円	160万円
	(20年度予算計上内容) ・観光まちづくり推進組織設立準備		

番号	事業名	19～23年度 総事業費	20年度 事業費
ともに支え合い 健やかに安心して暮らせるまち			
1	保健福祉サービス拠点の整備（北部） 大橋一丁目公共公益施設内に保健福祉サービス拠点を整備します。 (20年度予算計上内容) ・北部保健福祉サービス拠点の整備：内装工事設計 (事業費は「大橋一丁目公共公益施設の整備」に別掲)	370万円	
2	子育て環境のバリアフリー化 区立施設に、移動可能なベビーベッド又はトイレ内へのオムツ交換台の設置を行い、子育て環境の整備を図ります。 (20年度予算計上内容) ・17か所：オムツ交換台12、ベビーベッド5	571万円	382万円
3	保育所の整備（新設） 上目黒一丁目地区市街地再開発事業により新設される建物内に保育所を設置し、再開発事業地区及び周辺地域における保育需要への対応を図ります。 (20年度予算計上内容) ・(仮称)上目黒一丁目保育園再開発組合による本体工事：内装工事設計	5億4,996万円	882万円
4	保育所の整備（改築・改修） 老朽化した園舎を改築・改修し、良好な保育環境の確保を図るとともに、定員増により保育需要に対応します。 (20年度予算計上内容) ・祐天寺保育園：設計、守屋教育会館解体工事	7億5,280万円	1億6,092万円
5	学童保育クラブの整備（新設） 大岡山地域の学童保育需要に対応するため、平町老人いこいの家の改築に合わせて学童保育クラブを併設し、大岡山学童保育クラブを移転します。 (20年度予算計上内容) ・大岡山学童保育クラブ：初度備品 (整備費は「老人いこいの家改築」に別掲)	1,145万円	238万円
6	老人いこいの家改築 老朽化している老人いこいの家を改築し、利用しやすい老人いこいの家とします。 (20年度予算計上内容) ・平町老人いこいの家改築：建築工事、代替施設へ移転 (事業費には「学童保育クラブの整備（新設）」を含む)	1億7,724万円	1億5,357万円
7	障害者生活寮（グループホーム）の整備 障害者の地域生活移行を促進させるため、生活の場を提供し、日常生活の援護・指導などを行い、住み慣れた地域での自立した生活を支援します。 (20年度予算計上内容) ・障害者グループホーム（民間1）：運営費補助	966万円	143万円
8	就労移行支援等施設の確保 障害者自立支援法に基づく就労移行支援事業(一般就労希望者に、就労に必要な知識・能力向上のための訓練を実施)と就労継続支援事業(一般就労が困難な者に、働く場の提供及び知識・能力の向上のための訓練を実施)を新たに立ち上げる事業者に対し、施設建設費等を補助します。 (20年度予算計上内容) ・就労移行支援等施設：民間1	1億1,558万円	510万円
9	障害者入所施設の確保 社会福祉法人が建設する入所施設に対し建設費を補助することにより、身体障害者・知的障害者の安定した生活の場を確保します。 (20年度予算計上内容) ・入所施設4床（身体障害者分）：建設費補助	1,250万円	200万円

番号	事業名	19～23年度 総事業費	20年度 事業費
ともに支え合い 健やかに安心して暮らせるまち（続）			
10	福祉工房の整備 福祉工房の機能の充実及び利用者の拡大を図るため、福祉工房を移設・改築します。 (20年度予算計上内容) ・(仮称)目黒本町障害福祉施設：既存施設解体設計、既存施設解体、基本設計、実施設計	7億9,556万円	1億4,379万円
11	介護保険サービス基盤の整備支援 国の交付金等を活用しつつ、区の上乗せ介護基盤整備補助制度を実施し、事業者の参入を促進することにより、区民ができるだけ住み慣れた地域で生活できるよう、介護保険サービスの充実を図ります。 (20年度予算計上内容) ・認知症高齢者グループホーム整備：4ユニット ・小規模多機能型居宅介護：3か所	2億6,000万円	2億70万円
環境に配慮した 安全で快適なまち			
1	自然環境の保全と回復 みどり豊かな環境を守り、育て、次世代へ引き継いでいくため、自然環境基礎調査の実施やビオトープをつくり、自然環境を保全します。 (20年度予算計上内容) ・自然環境基礎調査 ・ビオトープ：1か所(碑小学校)	2,623万円	247万円
2	民有地のみどりの保全と創出 所有者に対する助成などを通して、樹木等の保全と屋上・壁面の緑化を推進します。 (20年度予算計上内容) ・樹木等の保全(助成、標識設置など) ・屋上壁面緑化面積：600㎡	4,329万円	1,299万円
3	目黒川総合環境整備事業 目黒川総合環境整備基本計画に基づき沿川道路・通路、合流点・船入場の整備など目黒川の環境整備を行います。また、沿川道路の改修時期にあわせ、ヒートアイランド対策の一環として保水性舗装を整備します。 (20年度予算計上内容) ・沿川道路の整備：190m ・デザイン街路灯：2灯 ・植栽工整備：45m ・設計委託(合流点)	2億1,560万円	3,045万円
4	都市景観行政の推進 景観計画の策定、条例の制定等により、良好な都市景観の形成に向けた総合的な景観行政を推進します。 (20年度予算計上内容) ・「(仮称)目黒区景観計画」(案)作成	1,415万円	962万円
5	良好な住環境の保全・形成の推進 住宅地や商業地など、それぞれの地域特性に応じた都市計画制限のあり方を体系的に整理し、都市計画法に基づく高度地区や敷地面積制限などの規制・誘導制度の活用を図ります。 (20年度予算計上内容) ・地域特性に応じた建物・敷地の規制・誘導	729万円	455万円
6	上目黒一丁目旧国鉄清算事業団宿舍跡地の有効活用 上目黒一丁目旧国鉄清算事業団宿舍跡地に定期借地権を設定し、民間活力を活用して周辺環境と調和のとれたまちづくりを推進します。 (20年度予算計上内容) ・実施方針作成、公募選定	596万円	596万円

番号	事業名	19～23年度 総事業費	20年度 事業費
環境に配慮した 安全で快適なまち（続）			
7	木造住宅密集地域整備事業 老朽建築物等が密集し、公園などの公共施設が不足している地区において、良質な住宅への建替え促進や、公園などの公共施設の基盤整備を進め、住環境及び防火性の向上を推進します。 (20年度予算計上内容) ・推進業務委託：2地区	4億4,127万円	929万円
8	上目黒一丁目地区市街地再開発事業 土地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の更新を図りながら、都市基盤施設を整備し、居住機能及び商業・業務が調和した安全で快適な複合市街地の形成を図ります。 (20年度予算計上内容) ・再開発事業の推進、本体工事	45億1,680万円	30億7,860万円
9	大橋一丁目周辺地区の整備 大橋一丁目周辺地区を広域生活拠点として整備し、あわせて地域の街づくり活動支援を行います。 (20年度予算計上内容) ・地区整備事業 ・街づくり活動支援 ・大橋一丁目公園（仮称）等整備基本設計 (目黒川緑道整備の事業費は「公園等の整備」に別掲) (大橋二丁目の自転車駐輪場整備事業費は「自転車駐輪場等の整備」に別掲)	12億7,065万円	2,644万円
10	自由が丘駅周辺地区の整備 自由が丘地区における市街地の整備改善と商業等の活性化を一体的に推進します。 (20年度予算計上内容) ・都市再生整備計画事業 ・街づくり活動支援	4億29万円	1億1,520万円
11	学芸大学駅周辺地区整備 目黒区都市計画マスタープランに基づき、学芸大学駅周辺の地区生活拠点づくりを目指し、きめ細やかな街づくりを展開します。 (20年度予算計上内容) ・地区整備計画の策定（交通バリアフリー整備計画を含む） ・地区街づくり支援	1,317万円	496万円
12	大橋一丁目公共公益施設の整備 大橋地区市街地再開発事業による再開発ビル内に公共公益施設を整備します。 (20年度予算計上内容) ・公共公益施設の整備：内装工事設計 (事業費には「地区サービス事務所の整備（北部）」「保健福祉サービス拠点の整備（北部）」「大橋図書館の整備」の事業費（初度備品、移転費用を除く）を含む)	18億6,779万円	1,479万円
13	公園等の整備 区民の休息やレクリエーションなどの活動や地域のみどりの保全回復の拠点として公園を整備します。また、立体都市公園等の新しい公園制度の活用、東山公園拡張及び目黒川、大橋一丁目地区、木造住宅密集地域等の整備事業による公園や緑道の整備を進めます。 (20年度予算計上内容) ・東山公園実施設計・解体工事 ・洗足二丁目公園（仮称）設計 ・目黒川緑道（仮称）整備工事 (大橋一丁目公園（仮称）等整備基本設計費は「大橋一丁目周辺地区の整備」に別掲) (合流点遊び場の設計は「目黒川総合環境整備事業」に別掲)	8億3,561万円	1億9,048万円

番号	事業名	19～23年度 総事業費	20年度 事業費
環境に配慮した 安全で快適なまち（続）			
14	公園等の改良	7億6,659万円	1億1,080万円
<p>老朽化した公園・便所について、バリアフリー化 防災・防犯性の向上 施設の安全確保 利用促進 公衆便所の環境改善 住民参加による公園管理等の観点に考慮し、順次計画的に必要な改良を図ります。</p> <p>(20年度予算計上内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童公園等：1か所 ・児童遊園等：2か所 ・緑道：1か所（2期） 			
15	都市計画道路の整備	25億5,258万円	5億531万円
<p>円滑な道路交通や歩行者の安全・快適な通行の確保とともに、災害時の避難路及び延焼遮断帯として防災性の向上に寄与するよう都市計画道路を整備します。</p> <p>(20年度予算計上内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助19号線：工事 ・補助30号線：工事、用地取得（37.82㎡） 			
16	道路改良	3億475万円	4,016万円
<p>歩道の勾配や段差のバリアフリー化、車両の通行量や道路の立地条件に応じた舗装構造の改良を実施します。</p> <p>(20年度予算計上内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・段差解消：9か所 ・中級舗装：1,760㎡ 			
17	八雲地区コミュニティ・ゾーン形成事業	1億910万円	3,681万円
<p>八雲地区内における歩車共存道路など交通環境の改善を行い、交通事故の減少を図ります。</p> <p>(20年度予算計上内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩車共存道路整備：330m ・交差点改良：6か所 			
18	金属材料技術研究所跡地周辺道路等の整備	2億7,720万円	1億4,165万円
<p>金属材料技術研究所跡地利用計画の一環として、区立中目黒公園を含む周辺一帯への避難路の充実及びアクセス利便性の向上を図るため、先に整備した周辺道路整備に引き続き目黒川に橋りょうを新設します。</p> <p>(20年度予算計上内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・橋りょう工事 			
19	電線類の地中化	2億1,481万円	1,620万円
<p>防災機能の向上、安全な歩行空間の充実や良好な都市景観を形成するため、電線類の地中化を推進します。</p> <p>(20年度予算計上内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市計画道路：19号線（工事）、30号線（工事） ・都立大学駅前：詳細設計 <p>（都市計画道路19・30号線の事業費は「都市計画道路の整備」に別掲）</p>			
20	緑が丘駅周辺のバリアフリー整備	10億5,980万円	3億円
<p>鉄道事業者による駅のバリアフリー改修計画にあわせて、緑が丘駅周辺の駐輪場や自由通路等の整備を推進します。</p> <p>(20年度予算計上内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整備工事 			

番号	事業名	19～23年度 総事業費	20年度 事業費
環境に配慮した 安全で快適なまち（続）			
21	都立大学駅周辺のバリアフリー整備 目黒区交通バリアフリー推進基本計画に基づき、都立大学駅周辺のバリアフリー整備を進めます。 (20年度予算計上内容) ・電線類地中化：詳細設計 ・地区街づくり支援 (電線類地中化の事業費は「電線類の地中化」に別掲)	187万円	5万円
22	通学路・裏通りの交通安全対策 通学路や裏通りの交通安全対策を行い、区民の安全で快適な道路環境を整備します。 (20年度予算計上内容) ・3小学校区域	5,198万円	936万円
23	自転車駐輪場等の整備 道路などの公共の場所での放置自転車を解消することにより、歩行者や車の通行の確保と緊急活動時の障害をなくし、安全で快適な生活環境を確保します。 (20年度予算計上内容) ・洗足自転車置場改修設計 ・池尻大橋駅北口駐輪場（仮称）整備工事 ・中町集積所：立体化工事、開設1,000台	6億8,635万円	1億9,429万円
24	目黒線沿線地域の整備 目黒線沿線地域の安全で快適な街づくりを推進するため、目黒線の立体交差事業に併せて、西小山駅周辺及び洗足商店街の道路整備、洗足駅蓋架上部の整備を進めます。 (20年度予算計上内容) ・まちづくり協議会運営 ・洗足駅蓋架上部広場整備工事	1億5,336万円	1億5,916万円
25	目黒線連続立体交差事業 目黒線連続立体交差事業を推進することにより、環状6号線、補助26号線等の鉄道交差部との拡幅整備を進め、18箇所の踏切除却による交通渋滞の解消、道路・鉄道の安全性の向上、鉄道によって隔てられていた地域の一体化などを図ります。 (20年度予算計上内容) ・工事	11億2,939万円	3億9,882万円
26	区民住宅の確保 区内の土地所有者等が一定の条件で建設した住宅を区が借り上げ、または区が買取り、子育て中堅ファミリー世帯用の住宅として供給することにより、区民の定住化を図ります。 (20年度予算計上内容) ・借上型：設計費補助	1億9,855万円	118万円
27	高齢者向け優良賃貸住宅の確保 高齢者向けの仕様を備えた民間賃貸住宅を確保し比較的低廉な家賃で提供することにより、高齢者の居住の安定を図ります。また、住宅を建設する事業者に区が建設費の一部を助成します。 (20年度予算計上内容) ・供給計画策定	2,375万円	177万円
28	高齢者福祉住宅の確保 住宅に困窮する高齢者に対して住宅を提供することにより、その生活の安定と福祉の増進を図ります。 (20年度予算計上内容) ・供給（借上型）：設計・建設費補助 ・供給（直接供給型・建設）：設計	13億5,237万円	1億2,081万円

番号	事業名	19～23年度 総事業費	20年度 事業費
環境に配慮した 安全で快適なまち（続）			
29	民間建築物の耐震化促進	2億1,283万円	8,249万円
旧耐震基準で建築された民間建築物に対する耐震診断費用及び耐震改修工事費を助成し、耐震化を促進します。			
(20年度予算計上内容)			
<ul style="list-style-type: none"> ・耐震診断助成：木造160棟、非木造3棟 ・耐震改修助成：木造30棟、非木造5棟 ・啓発・支援 			
30	都市防災不燃化促進事業	8,262万円	582万円
大地震等に伴い発生する市街地火災から区民の生命身体の安全を確保するとともに、居住環境の整備に寄与するため、補助46号線沿道について都市防災不燃化促進事業による建築物の不燃化を促進します。			
(20年度予算計上内容)			
<ul style="list-style-type: none"> ・補助46号線目黒本町三丁目地区 不燃化促進事業推進：建替助成1棟 			
31	総合治水施設の整備	4,858万円	765万円
河川等の溢水防止のため、道路・公園・学校その他の公共施設に雨水貯留・浸透施設の整備を進めます。			
(20年度予算計上内容)			
<ul style="list-style-type: none"> ・透水性舗装：歩道380㎡ ・横型浸透樹：1か所 			
32	下水道管直結型トイレの整備	5,929万円	1,961万円
第一次避難場所で使用する災害用トイレについて、地震の揺れに強く、し尿の処理に問題の少ない下水道管直結型トイレの整備を進めます。			
(20年度予算計上内容)			
<ul style="list-style-type: none"> ・小学校4校 ・碑文谷公園 			
33	生活安全対策の推進	721万円	163万円
区民が安全で安心して生活できるまちづくりを目指し生活安全対策を推進します。			
(20年度予算計上内容)			
<ul style="list-style-type: none"> ・防犯資器材貸与：10協力団体、2協力事業者 ・防犯ブザー配布：新小学1年生用2,000個 			
34	学校安全対策アドバイザーの小学校派遣	693万円	231万円
安全対策上の指導や助言など、学校の危機管理体制を支援し安全対策の充実を図るため、学校安全対策アドバイザーを小学校に派遣します。			
(20年度予算計上内容)			
<ul style="list-style-type: none"> ・派遣22回(全22校・各4時間) 			
35	ごみ減量の推進	13億4,437万円	7億2,753万円
びん・缶・ペットボトル・プラスチック製容器包装の分別回収を拡大、古紙の集団回収を支援することにより、区民・事業者と協働して、ごみ減量と資源リサイクルを推進します。			
(20年度予算計上内容)			
<ul style="list-style-type: none"> ・びん：540トン ・缶：210トン ・ペットボトル：480トン ・プラスチック製容器包装：2,090トン ・参加町会数：5町会 ・古紙回収量：500トン 			
36	環境基本計画の推進	947万円	10万円
環境基本計画を推進し、区内の温室効果ガス排出量を平成23年度までに4%削減します。			
(20年度予算計上内容)			
<ul style="list-style-type: none"> ・環境基本計画の推進 ・区内温室効果ガス排出削減 			

番号	事業名	19～23年度 総事業費	20年度 事業費
環境に配慮した 安全で快適なまち（続）			
37	「風の道」づくり、地域のグリーン化の推進	1,443万円	497万円
<p>環境基本計画の重点プロジェクトの一つである「風の道」づくりを推進し、ヒートアイランド現象を緩和します。また、地域のグリーン化を推進するため、環境負荷を低減する区民や事業者の継続的な活動を支援します。</p> <p>(20年度予算計上内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「風の道」づくり調査・研究 ・目黒区版環境ISO事業推進(41件認証) 			
38	ヒートアイランド対策の推進	2億5,011万円	3,695万円
<p>ヒートアイランド対策の一環としての保水性舗装を、通常の路面補修に併せて実施します。(ヒートアイランド対策推進エリア内の目黒・目黒本町地域、「風の道」づくりにおける目黒川ゾーン)</p> <p>(20年度予算計上内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保水性舗装：1,500㎡ 			
基礎的自治体としての行財政能力の充実			
1	内部情報システムの構築	5億5,738万円	5,715万円
<p>事務改善と情報システムの全体最適化を目的とし、財務情報、文書管理、庶務事務、人事給与の各システムと、システム間のデータ連携等を行う共通基盤を一体的に構築します。</p> <p>(20年度予算計上内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・財務情報システム(予算執行)：稼働 ・財務情報システム(決算・監査)：構築 			
実施計画事業 20年度予算計上額 合計			76億5,759万円

